



C型慢性肝炎ウイルス治療後（駆除後）の患者様へ

あなたは治療前にはC型肝炎ウイルスに感染し、C型慢性肝炎でありましたが、抗ウイルス療法（インターフェロンもしくは内服薬）によって現在はC型肝炎ウイルスが駆除され、ウイルス感染のない状態になっています。このため今後肝炎ウイルスによる肝障害は起こらず、アルコールや他の原因となる因子がない限りこれ以上肝臓の状態が悪化することはないと考えられます。

しかしながら、ウイルス駆除以前は慢性肝炎の状態が長い年月続いていたと考えられ、このためウイルスが駆除されたとはいえ、現在も肝臓はまったく正常の状態に戻ったとは言えないのが実情です。ウイルス駆除によって悪化した肝臓は徐々に正常な状態に戻っていくと言われていますが、悪化するのに長い年月を経たのと同様、全く正常な状態に戻るのにも長い年月が必要と言われています。

このため、現在のあなたの肝臓に肝臓癌（肝細胞癌）が発生する危険は、ウイルスが駆除されずに居続けた場合に比べればずっと低いと言えますが、ウイルスに感染したことのない、正常の肝臓の人には比べれば高いのです。そのため、ウイルスが駆除された現在でも、ある程度の期間をおいて定期的に肝臓癌が発生していないかの検査をしていく必要があると言われています。

今回、C型慢性肝炎ウイルス治療後地域連携パスに登録させていただくにあたり、その概要について説明いたします。

C型肝炎治療後の、肝臓癌の発生の有無に関する検査（サーベイランスといいます）は、基本的にはエコーやMRIなどの画像検査と、腫瘍マーカーなどの採血検査を組み合わせて行います。画像検査は大変なため基本的には6ヶ月おきに行い、採血検査は3ヶ月おきに行って今後も万が一の肝臓癌の発生を見落すことのないようにしていく予定です。今後は大垣市民病院では原則として6ヶ月おき（年2回）に採血検査と画像検査を行い、3ヶ月目の採血検査はかかりつけの先生（診療所）で行っていただくことになります。もちろんかかりつけの先生のところの採血で腫瘍マーカーの上昇などがあれば、直ちに大垣市民病院に紹介してもらい画像検査を行うことになります。従って、内服薬のある方は薬の処方も今後はかかりつけの先生のところでしてもらうようお願いします。

つきましては、このシステムを円滑に行うために患者登録をさせていただきたいと思います。登録することに同意していただける方は下記に署名をお願い申し上げます。もちろん、今回了承された場合でも後々、承諾を撤回される場合は、申し出いただければ、登録を削除させて頂きます。

よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

記

私は、患者登録されることを了承いたします。

_____年_____月_____日

氏名 : _____

病院名 : 大垣市民病院 消化器内科 _____

説明医師 : _____

以上